

## H28教科の細目の見直し提案表

本提案表は、基礎研究会において検討した見直し(基準の細目)案である。改正省令(基準の細目)は、本提案表を踏まえ厚生労働省で審議されるものであるため、本提案表については変更されていることを申し添える。



新(改正後)

教科の細目31-1					
訓 練 科			建築施工系木造建築科		
教 科 の 科 目			訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由
系基礎学科	1	建築概論	10	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2	構造力学概論	30	力の釣合い、荷 <del>量</del> 重と外力、 <del>応力</del> 、断面の性質、 <del>基礎と地盤</del>	・荷量を一般的に使用されている「荷重」に変更 ・外力に対する変形である「応力」を追加 ・構造力学概論の範疇でない「基礎と地盤」は削除
	3	建築構造概論	60	木造建築、プレハブ建築、枠組壁建築、鉄筋コンクリート造建築、鉄骨造建築	
	4	建築計画概論	40	全体計画、各部の計画、計画の進め方	
	5	建築生産概論	20	機械、工程管理、資材管理、生産管理、契約事務	
	6	建築設備	20	<del>設備計画</del> 、給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	・設備全体の計画を示す語を追加
	7	測量	10	測量一般、測量機器、敷地測量、図面及び計算	
	8	建築製図	20	製図用具及び用紙、製図通則、建築 <del>物</del> 製図の概要	・一般的な表現に変更
	9	安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	10	関係法規	20	建築基準法、建設業法、建築士法	
	系基礎学科合計		250		
系基礎実技	1	機械操作基本実習	<del>70</del> 90	<del>建築</del> 機械使用法、CAD操作、 <del>及び</del> OA機器操作	・CAD操作に対する時間数を増加(測量基本実習の減少分) ・建築機械と称されるものが断定できないことから建築を削除
	2	測量基本実習	<del>50</del> 30	平板測量、水準測量、 <del>トランシット</del> 角測量、測量図	・平板測量が使用されず、TS測量に移行し、平板測量の使用が激減。これを受け、時間数削減(機械操作基本実習に減少分引き渡し) ・角度を対象とした測量を「角測量」に変更
	3	安全衛生作業法	30	安全作業法、衛生作業法	
	系基礎実技合計		150		
専攻学科	1	木質構造	20	デザインと構造、荷重と構造計画、木質構造用材料、木質構造の接合部、各部構造の設計	
	2	材料	20	金属系材料、木質系材料、セメント系材料、プラスチック系材料、その他の材料	
	3	規く術	30	図板・尺杖等の作成法、さしがね <del>目盛り</del> 使用法、勾配、勾・ <del>爻</del> ・ <del>玄等</del> の名称及び長さの計算、四方転び、 <del>棒隅隅木</del>	・さしがね「使用方法」として目盛りを削除 ・さしがねの3辺を「勾・爻・玄」とセットでの呼び名であるため「爻」追加 ・棒隅では限定的なため、「隅木」に変更
	4	工作法	30	構造材の墨付け及び切組、 <del>内部</del> 造作材の木ごしらえ及び取付け、 <del>外部造作材の木ごしらえ及び取付け</del>	・内部造作材、外部造作材をまとめて、どちらも含む表現に変更した。
	5	木造建築施工法	30	墨付け、仕口と継 <del>ぎ</del> 手、造作、 <del>防腐及び断熱、結露防止、断熱及び気密、防腐、防音</del>	・「継手」に表現変更。 ・断熱と気密はセットの表現に変更 ・断熱や気密の状況により発生する結露は、事象発生等について触れられるため削除 ・木材の湿気による腐食の影響が大きい
	6	仕様及び積算	20	仕様書、積算	
	専攻学科合計		150		
専攻実技	1	器工具使用法	50	木工機械の取扱い、電動工具の取扱い、 <del>木材加工用</del> 及び手工工具の <del>使用法</del> 取扱い	・電動工具と同様に手工工具の取扱いとし、木材加工用手工工具の限定は削除
	2	工作実習	100	木工機械及び手工工具による加工	
	3	木造建築施工実習	150	木造建築物の施工、詳細図、施工図等作成	
	専攻実技合計		300		

新(改正後)

教科の細目 31-2					
訓 練 科			建築施工系枠組壁建築科		
教 科 の 科 目			訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由
系基礎学科	1	建築概論	10	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2	構造力学概論	30	力の釣合い、荷 <del>量</del> <b>重</b> と外力、 <del>応力</del> <b>力</b> 、断面の性質、 <del>基礎と地盤</del> <b>基礎</b>	・荷量を一般的に使用されている「荷重」に変更 ・外力に対する変形である「応力」を追加 ・構造力学概論の範疇でない「基礎と地盤」は削除
	3	建築構造概論	60	木造建築、プレハブ建築、枠組壁建築、鉄筋コンクリート造建築、鉄骨造建築	
	4	建築計画概論	40	全体計画、各部の計画、計画の進め方	
	5	建築生産概論	20	機械、工程管理、資材管理、生産管理、契約事務	
	6	建築設備	20	<del>設備計画</del> <b>画</b> 、給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	・設備全体の計画を示す語を追加
	7	測量	10	測量一般、測量機器、敷地測量、図面及び計算	
	8	建築製図	20	製図用具及び用紙、製図通則、建築 <del>物</del> <b>製図</b> の概要	・一般的な表現に変更
	9	安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	10	関係法規	20	建築基準法、建設業法、建築士法	
	系基礎学科合計		250		
系基礎実技	1	機械操作基本実習	<del>70</del> <b>90</b>	<del>建築</del> 機械使用法、CAD操作、 <del>及び</del> <b>OA</b> 機器操作	・CAD操作に対する時間数を増加(測量基本実習の減少分) ・建築機械と称されるものが断定できないことから建築を削除
	2	測量基本実習	<del>50</del> <b>30</b>	平板測量、水準測量、 <del>トランシット</del> <b>角測量</b> 、測量図	・平板測量が使用されず、TS測量に移行し、平板測量の使用が激減。これを受け、時間数削減(機械操作基本実習に減少分引き渡し) ・角度を対象とした測量を「角測量」に変更
	3	安全衛生作業法	30	安全作業法、衛生作業法	
	系基礎実技合計		150		
専攻学科	1	枠組壁工法	20	北米等の木造 <del>構造</del> <b>建築</b> 、枠組壁工法の定義、各部の構造、 <del>各部の</del> <b>構造計画</b>	・「木造構造」を一般的な「木造建築」に表現変更 ・構造計画は建物全体を対象とするため、「各部」を削除
	2	材料	30	枠組材、面材、造作材、金物と釘、接着剤、建築材料一般	
	3	規く術	30	さしがね <del>目盛り使用法</del> <b>目盛り</b> 、勾配、勾・爰・ <del>玄等</del> <b>等</b> の名称及び長さの計算法、四方転び、 <del>棒隅隅木</del> <b>隅木</b>	・さしがね「使用方法」として目盛りを削除 ・さしがねの3辺を「勾・爰・玄」とセットでの呼び名であるため「爰」追加 ・棒隅では限定的なため、「隅木」に変更
	4	枠組壁建築施工法	50	軀( <del>く</del> )体の構成、工作の特性と工程、工法と基準、施工法	・軀の読みがなを削除
	5	仕様及び積算	20	仕様書、積算	
	専攻学科合計		150		
専攻実技	1	器工具使用法	50	<del>木工</del> 機械の取扱い、電動工具の取扱い、 <del>木材加工用及び</del> <b>手工具の使用法</b> 取扱い、 <del>研磨、調整</del> <b>調整</b>	・機械を木工機械に限定 ・電動工具と同様に手工具の取扱いとし、木材加工用手工具の限定は削除 ・「研磨」は外注が多いこと、「調整」は機械取扱いに含まれることから削除
	2	部材加工実習	100	<del>木工</del> 機械、 <del>電動工具</del> <b>電動工具</b> 及び手工具による加工	・科の専門性に合わせて、木工機械に変更 ・部材加工時にも使用する工具として追加
	3	枠組壁建築施工実習	150	枠組壁建築物の施工	
	専攻実技合計		300		

新(改正後)

教科の細目 31-3					
訓 練 科			建築施工系とび科		
教 科 の 科 目	訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由		
系基礎学科	1	建築概論	10	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2	構造力学概論	30	力の釣合い、荷 <del>量</del> 重と外力、 <del>応力</del> 、断面の性質、 <del>基礎と地盤</del>	・荷量を一般的に使用されている「荷重」に変更 ・外力に対する変形である「応力」を追加 ・構造力学概論の範疇でない「基礎と地盤」は削除
	3	建築構造概論	60	木造建築、プレハブ建築、枠組壁建築、鉄筋コンクリート造建築、鉄骨造建築	
	4	建築計画概論	40	全体計画、各部の計画、計画の進め方	
	5	建築生産概論	20	機械、工程管理、資材管理、生産管理、契約事務	
	6	建築設備	20	<del>設備計画</del> 、給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	・設備全体の計画を示す語を追加
	7	測量	10	測量一般、測量機器、敷地測量、図面及び計算	
	8	建築製図	20	製図用具及び用紙、製図通則、建築 <del>物</del> 製図の概要	・一般的な表現に変更
	9	安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	10	関係法規	20	建築基準法、建設業法、建築士法	
	系基礎学科合計		250		
系基礎実技	1	機械操作基本実習	<del>70</del> 90	<del>建築</del> 機械使用法、CAD操作 <del>、及び</del> OA機器操作	・CAD操作に対する時間数を増加(測量基本実習の減少分) ・建築機械と称されるものが断定できないことから建築を削除
	2	測量基本実習	<del>50</del> 30	平板測量、水準測量、 <del>トランシット</del> 角測量、測量図	・平板測量が使用されず、TS測量に移行し、平板測量の使用が激減。これを受け、時間数削減(機械操作基本実習に減少分引き渡し) ・角度を対象とした測量を「角測量」に変更
	3	安全衛生作業法	30	安全作業法、衛生作業法	
	系基礎実技合計		150		
専攻学科	1	材料及び器工具	20	とび工事用器工具、仮設材、木質系材料、金属系材料、コンクリート系材料、その他の材料	
	2	とび施工法	40	工事用機械及び設備、施工計画及び管理、木工事(建方 <del>・引き方</del> 等)、鉄骨工事(建方・接合等)、コンクリート工事、建物解体工事	・教科内容項目「木工事」において「引き方」に関する引き屋は少ないため、「引き方」は削除
	3	仮設工事施工法	40	仮設建物の組立て・解体、足場の組立て・解体	
	4	土工事施工法	30	掘削工事、排水工事、山 <del>止め</del> 留め工事、杭・地業工事	・「山留め」の表現が主なため、表現変更
	5	仕様及び積算	20	仕様書、積算	
	専攻学科合計		150		
専攻実技	1	器工具使用法	40	とび工事用器工具の使用法	
	2	玉掛揚重実習	30	玉掛、揚重、運搬	
	3	仮設工事实習	100	仮設建物の組立て・解体、足場の組立て・解体	
	4	鉄骨工事实習	100	鉄骨建方、木造建方、コンクリート工事、建物解体	
	5	土木工事实習	30	掘削工事、排水工事、山 <del>止め</del> 留め工事、杭・地業工事	・「山留め」の表現が主なため表現変更 ・専攻学科の細目と合わせて、杭と地業工事分割
	専攻実技合計		300		

新(改正後)

教科の細目 31-4					
訓 練 科			建築施工系鉄筋コンクリート施工科		
教 科 の 科 目			訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由
系基礎学科	1	建築概論	10	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2	構造力学概論	30	力の釣合い、荷 <del>量</del> 重と外力、 <del>応力</del> 、断面の性質、 <del>基礎と地盤</del>	・荷量を一般的に使用されている「荷重」に変更 ・外力に対する変形である「応力」を追加 ・構造力学概論の範疇でない「基礎と地盤」は削除
	3	建築構造概論	60	木造建築、プレハブ建築、枠組壁建築、鉄筋コンクリート造建築、鉄骨造建築	
	4	建築計画概論	40	全体計画、各部の計画、計画の進め方	
	5	建築生産概論	20	機械、工程管理、資材管理、生産管理、契約事務	
	6	建築設備	20	<del>設備計画</del> 、給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	・設備全体の計画を示す語を追加
	7	測量	10	測量一般、測量機器、敷地測量、図面及び計算	
	8	建築製図	20	製図用具及び用紙、製図通則、建築 <del>物</del> 製図の概要	・一般的な表現に変更
	9	安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	10	関係法規	20	建築基準法、建設業法、建築士法	
	系基礎学科合計		250		
系基礎実技	1	機械操作基本実習	<del>70</del> 90	<del>建築</del> 機械使用法、CAD操作 <del>、及び</del> OA機器操作	・CAD操作に対する時間数を増加(測量基本実習の減少分) ・建築機械と称されるものが断定できないことから建築を削除
	2	測量基本実習	<del>50</del> 30	平板測量、水準測量、 <del>トランシット</del> 角測量、測量図	・平板測量が使用されず、TS測量に移行し、平板測量の使用が激減。これを受け、時間数削減(機械操作基本実習に減少分引き渡し) ・角度を対象とした測量を「角測量」に変更
	3	安全衛生作業法	30	安全作業法、衛生作業法	
	系基礎実技合計		150		
専攻学科	1	建築施工計画	20	建築施工の <del>定義・歴史・特性・施工業務概要</del> 、総合施工計画、鉄筋コンクリート工事計画	・定義・歴史・特性、施工業務を「建築施工の概要」と表現をひとくりにまとめた。
	2	材料	40	金属系材料、木質系材料、セメント系材料、プラスチック系材料、その他の材料	
	3	仮設工事	30	施工設備工事の計画、共通仮設工事、足場、揚重・運搬設備	
	4	鉄筋コンクリート施工法	40	基礎工事、鉄筋工事、型枠工事、コンクリート工事、仕上工事、その他の工事	
	5	仕様及び積算	20	仕様書、積算	
	専攻学科合計		150		
専攻実技	1	器工具使用法	40	型枠、鉄筋コンクリート施工用器工具、ガス溶接、アーク溶接	
	2	墨出し実習	30	型枠墨出し、仮設物墨出し	
	3	仮設工事实習	50	仮設物の組立て・ <del>解体</del>	・架設だけでなく、手順・作業要素の習得が必須である解体を追記
	4	型枠工事实習	60	型枠組立て・解体	
	5	鉄筋工事实習	60	鉄筋の加工・組立て	
	6	コンクリート工事实習	60	コンクリートの打設・養生	
	専攻実技合計		300		

新(改正後)

教科の細目 31－5					
訓 練 科			建築施工系プレハブ建築科		
教 科 の 科 目			訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由
系基礎学科	1	建築概論	10	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2	構造力学概論	30	力の釣合い、荷 <b>量重</b> と外力、 <b>応力</b> 、断面の性質、 <b>基礎と地盤</b>	・荷量を一般的に使用されている「荷重」に変更 ・外力に対する変形である「応力」を追加 ・構造力学概論の範疇でない「基礎と地盤」は削除
	3	建築構造概論	60	木造建築、プレハブ建築、枠組壁建築、鉄筋コンクリート造建築、鉄骨造建築	
	4	建築計画概論	40	全体計画、各部の計画、計画の進め方	
	5	建築生産概論	20	機械、工程管理、資材管理、生産管理、契約事務	
	6	建築設備	20	<b>設備計画</b> 、給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	・設備全体の計画を示す語を追加
	7	測量	10	測量一般、測量機器、敷地測量、図面及び計算	
	8	建築製図	20	製図用具及び用紙、製図通則、建築 <b>物</b> 製図の概要	・一般的な表現に変更
	9	安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	10	関係法規	20	建築基準法、建設業法、建築士法	
	系基礎学科合計			250	
系基礎実技	1	機械操作基本実習	<del>70</del> <b>90</b>	<b>建築</b> 機械使用法、CAD操作、 <del>、及び</del> OA機器操作	・CAD操作に対する時間数を増加(測量基本実習の減少分) ・建築機械と称されるものが断定できないことから建築を削除
	2	測量基本実習	<del>50</del> <b>30</b>	平板測量、水準測量、 <del>トランシット</del> <b>角測量</b> 、測量図	・平板測量が使用されず、TS測量に移行し、平板測量の使用が激減。これを受け、時間数削減(機械操作基本実習に減少分引き渡し) ・角度を対象とした測量を「角測量」に変更
	3	安全衛生作業法	30	安全作業法、衛生作業法	
	系基礎実技合計			150	
専攻学科	1	プレハブ構法	30	プレハブ構法の分類・ <b>主要構成材別構法</b> 、主要構造部品別構法、各種プレハブ構法の設計計画	・主要構造材の種類により、木質パネル工法、鉄骨パネル工法、鉄骨ユニット工法等があるこれらを「プレハブの構法」に包括
	2	材料	40	仮設材、構造材、下地材、造作材、仕上げ材	
	3	プレハブ建築施工法	60	質系・鉄鋼系・コンクリート系 <b>プレハブ</b> 建築物の構造・組立法・造作	・プレハブ建築として明確に表現
	4	仕様及び積算	20	仕様書、積算	
	専攻学科合計			150	
専攻実技	1	器具工使用法	50	プレハブ建築用機械の取扱い、電動工具の取扱い、木材加工用手工具の使用法	
	2	部材加工実習	100	プレハブ建築用機械及び手工具による加工法	
	3	プレハブ建築施工実習	150	プレハブ建築物の施工法	
	専攻実技合計			300	



新(改正後)

教科の細目 31-6					
訓 練 科			建築施工系建築設計科		
教 科 の 科 目			訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由
系基礎学科	1	建築概論	10	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2	構造力学概論	30	力の釣合い、荷 <del>量</del> 重と外力、 <del>応力</del> 、断面の性質、 <del>基礎と地盤</del>	・荷量を一般的に使用されている「荷重」に変更 ・外力に対する変形である「応力」を追加 ・構造力学概論の範疇でない「基礎と地盤」は削除
	3	建築構造概論	60	木造建築、プレハブ建築、枠組壁建築、鉄筋コンクリート造建築、鉄骨造建築	
	4	建築計画概論	40	全体計画、各部の計画、計画の進め方	
	5	建築生産概論	20	機械、工程管理、資材管理、生産管理、契約事務	
	6	建築設備	20	<del>設備計画</del> 、給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	・設備全体の計画を示す語を追加
	7	測量	10	測量一般、測量機器、敷地測量、図面及び計算	
	8	建築製図	20	製図用具及び用紙、製図通則、建築物製図の概要	・一般的な表現に変更
	9	安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	10	関係法規	20	建築基準法、建設業法、建築士法	
	系基礎学科合計		250		
系基礎実技	1	機械操作基本実習	<del>70</del> 90	<del>建築</del> 機械使用法、CAD操作 <del>、及び</del> OA機器操作	・CAD操作に対する時間数を増加(測量基本実習の減少分) ・建築機械と称されるものが断定できないことから建築を削除
	2	測量基本実習	<del>50</del> 30	平板測量、水準測量、 <del>トランシット</del> 角測量、測量図	・平板測量が使用されず、TS測量に移行し、平板測量の使用が激減。これを受け、時間数削減(機械操作基本実習に減少分引き渡し) ・角度を対象とした測量を「角測量」に変更
	3	安全衛生作業法	30	安全作業法、衛生作業法	
	系基礎実技合計		150		
専攻学科	1	構造力学	50	静定構造物、不静定構造物、応力と変形、 <del>構造物の変形断面算定</del>	・「構造物の変形」は応力変形のため削除 ・応力に耐える設定の「断面算定」を追記
	2	建築構造及び材料	90	鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、木構造、 <del>プレキャスト構造、組積造その他の構造、材料</del>	・建築材料についても触れるように教科名を「建築構造及び材料」に変更 ・「プレキャスト構造、組積造等」を「その他の構造」に包括 ・細目にも材料を追加
	3	建築計画	50	<del>建築計画</del> 、意匠計画、構造計画、設備計画の進め方、建築環境調整、各種建築物の建築計画	・建築計画概論より専門性の高い学科であることから、具体的な「意匠計画」、「構造計画」、「設備計画」に表現を変更
	4	建築設計	50	<del>建築製図の表現、設計図の目的</del> 各種建築物の設計、建築設計図 <del>・設備関係図</del> の種類及び内容、CAD・CG	・製図の表現等を細目から削除 ・「設計図の目的」という細かな項目を「各種建築物の設計」に変更 ・設備関係図も設計図面の一部のため削除
	5	建築施工法	60	仮設工事、土工事、鉄筋コンクリート工事、鉄骨工事、 <del>木工事、仕上げ工事、仕様及び積算</del>	・RC造、S造の工事の他に木工事もあるため追加 ・「仕様及び積算」も他科と同様に追加
	専攻学科合計		300		
専攻実技	1	木造建築設計実習	130	木造建築物の設計・製図	
	2	鉄骨造建築設計実習	70	鉄骨造建築物の設計・製図	
	3	鉄筋コンクリート造建築設計実習	100	鉄筋コンクリート造建築物の設計・製図	
	専攻実技合計		300		



新(改正後)

教科の細目 '36-1					
訓 練 科			土木系さく井科		
教 科 の 科 目			訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由
系基礎学科	1	土木工学概論	50	土木工学について、国土の開発、水工、道路及びその構造、及び都市と環境	・単元・単語と同様に表現に統一 ・句読点「、」での接続、「及び」で接続を統一
	2	測量学概論	60	距離及び角度の測定距離測量、角測量、多角測量、水準測量、平板測量、スタジア測量、その他の測量	・測量の基本として、距離測量、角測量、多角測量、水準測量と表記
	3	建設工学概論	40	建設の生産プロセス、施工管理	
	4	応用力学及び土質工学	60	土質の構造・性質、応用力学、水理学	・「土質」自体に「構造・性質」が含まれているため、削除
	5	製図	20	土木製図の基礎、土木設計図	
	6	安全衛生	20	安全衛生管理、安全作業法、安全衛生関係法規、安全作業法	・他科の「安全衛生」に準じた記載に変更
	系基礎学科合計		250		
系基礎実技	1	測量基本実習	130	距離及び角度の測定距離測量、角測量、多角測量、水準測量、平板測量、スタジア測量、その他の測量	・測量の基本として、距離測量、角測量、多角測量、水準測量と表記 ・平板測量は基本的な測量法であるが、現在使用されていないため実習からは削除
	2	安全衛生作業法	20	安全衛生作業	
	系基礎実技合計		150		
専攻学科	1	水理学概論		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	2	機械及び電気		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	3	材料		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	4	検層法		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	5	溶接法		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	6	施工法		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	専攻学科合計		0		
専攻実技	1	さく井機械操作実習		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	2	溶接実習		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	3	さく井施工実習		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	4	揚水試験実習		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	専攻実技合計		0		

新(改正後)

教科の細目 36-2					
訓 練 科			土木系土木施工科		
教 科 の 科 目			訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由
系基礎学科	1	土木工学概論	50	土木工学について、国土の開発、水工、道路及びその構造、及び都市と環境	・単元・単語と同様に表現に統一 ・句読点「、」での接続、「及び」で接続を統一
	2	測量学概論	60	距離及び角度の測定距離測量、角測量、多角測量、水準測量、平板測量、スタジア測量、その他の測量	・測量の基本として、距離測量、角測量、多角測量、水準測量と表記
	3	建設工学概論	40	建設の生産プロセス、施工管理	
	4	応用力学及び土質工学	60	土質の構造・性質、応用力学、水理学	・「土質」自体に「構造・性質」が含まれているため、削除
	5	製図	20	土木製図の基礎、土木設計図	
	6	安全衛生	20	安全衛生管理、安全作業法、安全衛生関係法規、安全作業法	・他科の「安全衛生」に準じた記載に変更
	系基礎学科合計		250		
系基礎実技	1	測量基本実習	130	距離及び角度の測定距離測量、角測量、多角測量、水準測量、平板測量、スタジア測量、その他の測量	・測量の基本として、距離測量、角測量、多角測量、水準測量と表記 ・平板測量は基本的な測量法であるが、現在使用されていないため実習からは削除
	2	安全衛生作業法	20	安全衛生作業	
	系基礎実技合計		150		
専攻学科	1	機械及び電気	20	土木機械の種類及び機能、主要部の構造及び操作法、土木機械の操作法、土木機械の管理、電気の基礎工事現場における電気設備	・主要部の「操作法」が明確でないため削除 ・「電気の基礎工事現場」と限定しすぎのため削除
	2	土木設計	70	土木構造物の設計、土木設計図及び施工図	
	3	材料	20	土木材料の種類、性質及び用途、材料試験	
	4	土木施工法	80	土工事、基礎工事、コンクリート工事、鉄筋工事、仮設工事、土木工事の計画及び施工法	
	5	関係法規	10	建設公害対策、その他関係法規	
	専攻学科合計		200		
専攻実技	1	測量実習	130	基準点測量、地形測量、路線測量	・路線測量の重要度が高いため追記
	2	土木施工実習	170	土工事、基礎工事、コンクリート工事、鉄筋工事、仮設工事、土木工事の計画及び施工、工事の事前調査、施工計画の作成、作業の段取り及び実施、土木機械の運営管理、施工管理	・機械では、範囲が広すぎるため、土木機械として表現を修正 ・機械の運営管理と限定せず、土木機械の管理に変更
	専攻実技合計		300		

新(改正後)

教科の細目 36－3					
訓 練 科			土木系測量・設計科		
教 科 の 科 目			訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由
系基礎学科	1	土木工学概論	50	土木工学について、国土の開発、水工、道路及びその構造、及び都市と環境	・単元・単語と同様に表現に統一 ・句読点「、」での接続、「及び」で接続を統一
	2	測量学概論	60	距離及び角度の測定距離測量、角測量、多角測量、水準測量、平板測量、スタジア測量、その他の測量	・測量の基本として、距離測量、角測量、多角測量、水準測量と表記
	3	建設工学概論	40	建設の生産プロセス、施工管理	
	4	応用力学及び土質工学	60	土質の構造・性質、応用力学、水理学	・「土質」自体に「構造・性質」が含まれているため、削除
	5	製図	20	土木製図の基礎、土木設計図	
	6	安全衛生	20	安全衛生管理、安全作業法、安全衛生関係法規、安全作業法	・他科の「安全衛生」に準じた記載に変更
	系基礎学科合計		250		
系基礎実技	1	測量基本実習	130	距離及び角度の測定距離測量、角測量、多角測量、水準測量、平板測量、スタジア測量、その他の測量	・測量の基本として、距離測量、角測量、多角測量、水準測量と表記 ・平板測量は基本的な測量法であるが、現在使用されていないため実習からは削除
	2	安全衛生作業法	20	安全衛生作業	
	系基礎実技合計		150		
専攻学科	1	基準点測量	50	測量学概論、測量機械機器概論、三角測量、多角測量、水準測量	・測量機械を測量機器と一般的な表現に変更
	2	地形測量	40	平板測量現地測量、写真測量、地図編集	・公共測量作業規程における平板測量であった章立てが現地測量に変更されたため、現地測量に変更
	3	応用測量	50	路線測量、河川測量、土地区画整理測量	
	4	土木設計	60	土木構造物の設計、構造計算	
	専攻学科合計		200		
専攻実技	1	基準点測量実習	60	多角測量、水準食料、距離測量	・教科名「基準点測量実習」であることから、基準点測量には多角測量、水準測量によるが、正確性を高めるよう距離測量を追加
	2	地形測量実習	40	平板測量現地測量、写真測量	・公共測量作業規程における平板測量であった章立てが現地測量に変更されたため、現地測量に変更
	3	応用測量実習	100	路線測量、河川測量、土地区画整理測量	
	4	土木設計実習	100	土木設計図の作成	
	専攻実技合計		300		

新(改正後)

教科の細目 32-1				
訓 練 科		建築外装系屋根施工科		
教 科 の 科 目	訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由	
系基礎学科	1 建築概論	20	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2 建築生産概論	30	建築生産の特徴、建築施工計画、建築施工法、機械、工具管理、資材管理、契約事務	
	3 建築構造	60	木質構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、鉄骨・鉄筋コンクリート構造、特殊構造	
	4 建築設備	30	給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	
	5 建築計画	20	全体計画、各部の計画、計画の進め方、各種建物の計画	
	6 建築製図	50	製図用具及び用紙、製図通則、建築物製図の概要	
	7 安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	8 関係法規	20	建築基準法、建設業法、その他関係法令	
	系基礎学科合計	250		
系基礎実技	1 測量及び測定基本実習	40	角度の測定、水準測定、距離及び長さの測定、引通し及び表示	
	2 機械操作基本実習	30	外装施工用機械の取扱い	
	3 足場実習	50	足場の組立て・解体、登りさん橋	
	4 安全衛生作業法	30	安全作業法、衛生作業法	
	系基礎実技合計	150		
専攻学科	1 材料	30	屋根ふき材料、関連工事材料	
	2 屋根施工法	90	割付け、下地施工法、屋根施工	
	3 仕様及び積算	30	仕様書、積算	
	専攻学科合計	150		
専攻実技	1 器工具使用法	30	屋根施工用器工具の使用実習	
	2 割付け実習	30	墨出し、割付け、合わせ	
	3 下地施工実習	30	屋根材料の選定、材料準備、下地施工	
	4 屋根施工実習	230	吹上げ、屋根仕舞、各種屋根の屋根ふき、施工	
	5 養生	30	養生材料の取扱い、養生	
	専攻実技合計	350		

新(改正後)

教科の細目 32-2				
訓 練 科		建築外装系スレート施工科		
教 科 の 科 目	訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由	
系基礎学科	1 建築概論	20	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2 建築生産概論	30	建築生産の特徴、建築施工計画、建築施工法、機械、工具管理、資材管理、契約事務	
	3 建築構造	60	木質構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、鉄骨・鉄筋コンクリート構造、特殊構造	
	4 建築設備	30	給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	
	5 建築計画	20	全体計画、各部の計画、計画の進め方、各種建物の計画	
	6 建築製図	50	製図用具及び用紙、製図通則、建築物製図の概要	
	7 安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	8 関係法規	20	建築基準法、建設業法、その他関係法令	
	系基礎学科合計	250		
系基礎実技	1 測量及び測定基本実習	40	角度の測定、水準測定、距離及び長さの測定、引通し及び表示	
	2 機械操作基本実習	30	外装施工用機械の取扱い	
	3 足場実習	50	足場の組立て・解体、登りさん橋	
	4 安全衛生作業法	30	安全作業法、衛生作業法	
	系基礎実技合計	150		
専攻学科	1 材料		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	2 スレート施工法		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	3 仕様及び積算		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	専攻学科合計	150		
専攻実技	1 器具使用法		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	2 材料取扱実習		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	3 スレート施工実習		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	4 養生		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	専攻実技合計	350		

新(改正後)

教科の細目 32-3				
訓 練 科		建築外装系建築板金科		
教 科 の 科 目	訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由	
系基礎学科	1 建築概論	20	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2 建築生産概論	30	建築生産の特徴、建築施工計画、建築施工法、機械、工具管理、資材管理、契約事務	
	3 建築構造	60	木質構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、鉄骨・鉄筋コンクリート構造、特殊構造	
	4 建築設備	30	給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	
	5 建築計画	20	全体計画、各部の計画、計画の進め方、各種建物の計画	
	6 建築製図	50	製図用具及び用紙、製図通則、建築物製図の概要	
	7 安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	8 関係法規	20	建築基準法、建設業法、その他関係法令	
	系基礎学科合計	250		
系基礎実技	1 測量及び測定基本実習	40	角度の測定、水準測定、距離及び長さの測定、引通し及び表示	
	2 機械操作基本実習	30	外装施工用機械の取扱い	
	3 足場実習	50	足場の組立て・解体、登りさん橋	
	4 安全衛生作業法	30	安全作業法、衛生作業法	
	系基礎実技合計	150		
専攻学科	1 材料	30	各種鋼板、金属板、合成樹脂材、断熱材、防音材、シーリング材、接着剤	
	2 板金加工法	30	板金機械、曲げ加工法、接合法、絞り加工法、切断加工法	
	3 板金施工法	60	施工用機械、外壁施工、屋根施工、雨どい施工、ダクト施工	
	4 仕様及び積算	30	仕様書、積算	
	専攻学科合計	150		
専攻実技	1 器工具使用法	30	板金加工及び施工用器工具	
	2 板金加工実習	90	曲げ加工、接合、絞り加工、切断加工	
	3 板金施工実習	200	外壁施工、屋根施工、雨どい施工、ダクト施工	
	4 養生	30	養生材料の取扱い、養生	
	専攻実技合計	350		

新(改正後)

教科の細目 32-4				
訓 練 科		建築外装系防水施工科		基礎研究会における修正理由
教 科 の 科 目	訓練時間	教 科 の 細 目		
系基礎学科	1 建築概論	20	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2 建築生産概論	30	建築生産の特徴、建築施工計画、建築施工法、機械、工具管理、資材管理、契約事務	
	3 建築構造	60	木質構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、鉄骨・鉄筋コンクリート構造、特殊構造	
	4 建築設備	30	給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	
	5 建築計画	20	全体計画、各部の計画、計画の進め方、各種建物の計画	
	6 建築製図	50	製図用具及び用紙、製図通則、建築物製図の概要	
	7 安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	8 関係法規	20	建築基準法、建設業法、その他関係法令	
	系基礎学科合計	250		
系基礎実技	1 測量及び測定基本実習	40	角度の測定、水準測定、距離及び長さの測定、引通し及び表示	
	2 機械操作基本実習	30	外装施工用機械の取扱い	
	3 足場実習	50	足場の組立て・解体、登りさん橋	
	4 安全衛生作業法	30	安全作業法、衛生作業法	
	系基礎実技合計	150		
専攻学科	1 材料	30	各種防水材料の特性及び選定法、付属材料	
	2 防水施工法	90	シート防水法、塗膜防水法、アスファルト防水法、金属防水法、シーリング防水法	
	3 仕様及び積算	30	仕様書、積算	
	専攻学科合計	150		
専攻実技	1 器工具使用法	50	防水施工用器工具	
	2 防水施工実習	270	墨出し、下地施工、各種方式による防水施工、仕上げ	
	3 養生	30	養生材料の取扱い、養生	
	専攻実技合計	350		



新(改正後)

教科の細目 32-5				
訓 練 科		建築外装系サッシ・ガラス施工科		
教 科 の 科 目	訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由	
系基礎学科	1 建築概論	20	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2 建築生産概論	30	建築生産の特徴、建築施工計画、建築施工法、機械、工具管理、資材管理、契約事務	
	3 建築構造	60	木質構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、鉄骨・鉄筋コンクリート構造、特殊構造	
	4 建築設備	30	給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	
	5 建築計画	20	全体計画、各部の計画、計画の進め方、各種建物の計画	
	6 建築製図	50	製図用具及び用紙、製図通則、建築物製図の概要	
	7 安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	8 関係法規	20	建築基準法、建設業法、その他関係法令	
	系基礎学科合計	250		
系基礎実技	1 測量及び測定基本実習	40	角度の測定、水準測定、距離及び長さの測定、引通し及び表示	
	2 機械操作基本実習	30	外装施工用機械の取扱い	
	3 足場実習	50	足場の組立て・解体、登りさん橋	
	4 安全衛生作業法	30	安全作業法、衛生作業法	
	系基礎実技合計	150		
専攻学科	1 材料	50	鉄鋼材料、非鉄材料、サッシと規格、ガラスと規格	
	2 サッシ施工法	40	アーク溶接法、 <b>ガス溶接法</b> 、サッシの組立法、付属材の取付け法	・アーク溶接が主であるため、ガス溶接法を削除
	3 ガラス施工法	30	ガラス加工法、ガラスの取扱い法、付属品の取付け法	
	4 仕様及び積算	30	仕様書、積算	
	専攻学科合計	150		
専攻実技	1 器工具使用法	30	サッシ施工用及びガラス施工用器工具	
	2 溶接実習	80	アーク溶接、 <b>ガス溶接</b>	・アーク溶接が主であるため、ガス溶接を削除
	3 サッシ施工実習	120	カーテンウォール取付け、サッシの加工・組立て・取付け、付属材の取付け	
	4 ガラス施工実習	90	ガラス加工、ガラスの取付け、付属材の取付け	
	5 養生	30	養生材料の取扱い、養生	
	専攻実技合計	350		

新(改正後)

教科の細目 33-1				
訓 練 科		建築内装系量科		
教 科 の 科 目	訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由	
系基礎学科	1 建築概論	30	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2 室内装飾概論	40	室内環境、色彩概論、内装の分類、インテリア史	
	3 建築生産概論	20	工程管理、資材管理、生産管理	
	4 建築構造	40	<del>木構造、内装構造、その他の構造、木質構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、鉄骨・鉄筋コンクリート構造、特殊構造、構造力学</del>	・建築分野の他系における同一科目の教科の細目に概ね準じて変更
	5 建築製図	30	製図用機械、JIS製図通則、建築物製図	
	6 安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	7 関係法規	20	建築基準法、消防法、消費者保護・物品等関係法規	
	系基礎学科合計	200		
系基礎実技	1 測定基本実習	30	角度の測定、水準測定、距離及び長さの測定、引通し及び表示	
	2 機械操作基本実習	35	建築内装用機械の取扱い	
	3 製図基本実習	35	製図一般、図法、建築製図	
	4 安全衛生作業法	20	安全衛生作業法	
	系基礎実技合計	120		
専攻学科	1 材料	30	材料取扱い、畳表、畳床、畳縁、縁下紙、かしら板、防中紙、化学畳床各種、その他	
	2 畳工作法	100	畳工作法、畳床製造法、畳敷込み法、製畳機、縫着機	
	3 仕様見積算	20	畳仕様書の読み方、概算見積り、清算見積り	
	専攻学科合計	150		
専攻実技	1 器工具使用法	40	汎用木工機械、畳工作用機械	
	2 適寸割出し実習	130	敷込み立案設計、敷込み製図、割付け、測定	
	3 刺付け実習	150	新畳刺付け、裏返し畳表替えの刺付け、 <del>畳の修理</del>	・畳の修理方法が未設定であったので、「畳の修理」を新たに追加 ・「畳替え」を一般的に用いられている「表替え」に訂正
	4 敷込み実習	30	畳の敷込み	
	専攻実技合計	350		

新(改正後)

教科の細目 33-2				
訓 練 科		建築内装系インテリア・サービス科		
教 科 の 科 目	訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由	
系基礎学科	1 建築概論	30	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2 室内装飾概論	40	室内環境、色彩概論、内装の分類、インテリア史	
	3 建築生産概論	20	工程管理、資材管理、生産管理	
	4 建築構造	40	<del>木構造、内装構造、その他の構造、木質構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、鉄骨・鉄筋コンクリート構造、特殊構造、構造力学</del>	・建築分野の他系における同一科目の教科の細目に概ね準じて変更
	5 建築製図	30	製図用機械、JIS製図通則、建築物製図	
	6 安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	7 関係法規	20	建築基準法、消防法、消費者保護・物品等関係法規	
	系基礎学科合計	200		
系基礎実技	1 測定基本実習	30	角度の測定、水準測定、距離及び長さの測定、引通し及び表示	
	2 機械操作基本実習	35	建築内装用機械の取扱い	
	3 製図基本実習	35	製図一般、図法、建築製図	
	4 安全衛生作業法	20	安全衛生作業法	
	系基礎実技合計	120		
専攻学科	1 インテリア計画	20	インテリア様式、色彩計画、寸法計画、室内計画、設備計画	
	2 材料	30	部位別材料、内装施工用材料	
	3 施工法	50	床・壁・天井等の仕上げと施工法	
	4 仕様及び積算	20	仕様書、積算	
	専攻学科合計	120		
専攻実技	1 器工具使用法	40	木工機械、金工用電動工具、インテリア加工用器工具の取扱い及び調整法	
	2 インテリア製図実習	80	各室の製図、建具・家具製図、プレゼンテーション、 <del>CAD操作、CAD製図</del>	・CADを用いることが一般的であるため「CAD操作、CAD製図」を追加
	3 施工実習	260	床仕上げ、壁仕上げ、天井仕上げ、各種取付工事	
	専攻実技合計	380		

新(改正後)

教科の細目 '33-3				
訓 練 科		建築内装系床仕上げ施工科		
教 科 の 科 目	訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由	
系基礎学科	1 建築概論	30	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2 室内装飾概論	40	室内環境、色彩概論、内装の分類、インテリア史	
	3 建築生産概論	20	工程管理、資材管理、生産管理	
	4 建築構造	40	<del>木構造、内装構造、その他の構造、木質構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、鉄骨・鉄筋コンクリート構造、特殊構造、構造力学</del>	・建築分野の他系における同一科目の教科の細目に概ね準じて変更
	5 建築製図	30	製図用機械、JIS製図通則、建築物製図	
	6 安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	7 関係法規	20	建築基準法、消防法、消費者保護・物品等関係法規	
	系基礎学科合計	200		
系基礎実技	1 測定基本実習	30	角度の測定、水準測定、距離及び長さの測定、引通し及び表示	
	2 機械操作基本実習	35	建築内装用機械の取扱い	
	3 製図基本実習	35	製図一般、図法、建築製図	
	4 安全衛生作業法	20	安全衛生作業法	
	系基礎実技合計	120		
専攻学科	1 材料		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	2 施工法		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	3 仕様及び積算		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	専攻学科合計	150		
専攻実技	1 器具使用法		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	2 カーペット施工実習		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	3 床施工実習		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	4 プラスチック系床施工実習		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	専攻実技合計	350		

新(改正後)

教科の細目 33-4				
訓 練 科		建築内装系表具科		
教 科 の 科 目	訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由	
系基礎学科	1 建築概論	30	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2 室内装飾概論	40	室内環境、色彩概論、内装の分類、インテリア史	
	3 建築生産概論	20	工程管理、資材管理、生産管理	
	4 建築構造	40	<del>木構造、内装構造、その他の構造、木質構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、鉄骨・鉄筋コンクリート構造、特殊構造、構造力学</del>	・建築分野の他系における同一科目の教科の細目に概ね準じtw変更
	5 建築製図	30	製図用機械、JIS製図通則、建築物製図	
	6 安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	7 関係法規	20	建築基準法、消防法、消費者保護・物品等関係法規	
	系基礎学科合計	200		
系基礎実技	1 測定基本実習	30	角度の測定、水準測定、距離及び長さの測定、引通し及び表示	
	2 機械操作基本実習	35	建築内装用機械の取扱い	
	3 製図基本実習	35	製図一般、図法、建築製図	
	4 安全衛生作業法	20	安全衛生作業法	
	系基礎実技合計	120		
専攻学科	1 表装概論	30	表具の沿革、目的及び効用、表具と建築物との関連	
	2 美術工芸史	10	表具美術の沿革、関連美術、工芸史	
	3 材料	40	紙系材料、布系材料、金具類、壁紙材料、下地調整剤、糊と接着剤	
	4 表装施工法	50	ふすま・掛軸・屏風の施工法、壁及び天井の施工法	
	5 仕様及び積算	20	仕様書の読み方、概算見積り、 <del>清算</del> 精算見積り	・誤字の「清算」を「精算」に訂正
	専攻学科合計	150		
専攻実技	1 器工具使用法	40	表装用器工具使用法	
	2 表具製作実習	140	掛軸の製作、屏風の製作、額の製作	
	3 ふすま仕上げ実習	130	骨組組立て、骨下地・下張り、削付け、上張り、縁打ち、金具取付け	
	4 壁装実習	40	下地調整、下張り作業、上張り作業	
	専攻実技合計	350		

新(改正後)

教科の細目 34-1				
訓 練 科		建築仕上系左官・タイル施工科		
教 科 の 科 目	訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由	
系基礎学科	1 建築概論	20	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2 建築生産概論	20	工程管理、資材管理、生産管理	
	3 建築構造	20	木構造、RC構造、SRC構造、補強ブロック構造木質構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、鉄骨・鉄筋コンクリート構造、補強コンクリートブロック構造	・建築分野の他系における同一科目の教科の細目に概ね準じて変更
	4 建築設備	20	給排水設備、電気設備、空調設備	
	5 建築製図	30	JIS製図通則、建築物の製図	
	6 建築仕上法	50	コンクリートブロック施工法、左官施工法、タイル施工法	
	7 安全衛生	20	産業安全、労働衛生、安全衛生管理の実際、具体的災害防止対策	
	8 関係法規	20	建築基準法、建設業法、その他関係法規	
	系基礎学科合計	200		
系基礎実技	1 機械操作基本実習	50	建築仕上用各種機械の取扱い	
	2 調合実習	50	材料の調合、混練	
	3 足場実習	30	足場の組立て及び解体、登りさん橋	
	4 安全衛生作業法	20	安全衛生作業法	
	系基礎実技合計	150		
専攻学科	1 造型	20	意匠図案、彫刻	
	2 材料	20	左官材料、タイル材料	
	3 左官施工法	40	作業の段取り、下地調整、材料別塗工法、技法別塗工法	
	4 タイル施工法	40	作業の段取り、下地調整、内装施工、外装施工、圧着工法、接着工法	・タイル施工を行う前の「下地調整」を追加
	5 仕様及び積算	30	仕様書の目的、設計書との関係、見積りの方法、積算法	
	専攻学科合計	150		
専攻実技	1 測定及び墨出し実習	50	下地調整、割付け、墨出し	
	2 下地施工実習	60	コンクリート下地施工、木質下地施工、その他の下地施工	
	3 左官施工実習	110	材料別塗仕上げ、技法別塗仕上げ	
	4 タイル施工実習	110	タイル加工、積上げ張り、圧着張り、接着張り、目地仕上げ	・積上げ張りは、タイル施工法のひとつであるが、接着剤張りに移行しているため削除
	5 養生	20	養生材料の取扱い、養生	
	専攻実技合計	350		

新(改正後)

教科の細目 34-2				
訓 練 科		建築仕上系築炉科		
教 科 の 科 目	訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由	
系基礎学科	1 建築概論	20	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2 建築生産概論	20	工程管理、資材管理、生産管理	
	3 建築構造	20	木構造、RC構造、SRC構造、補強ブロック構造、木質構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、鉄骨・鉄筋コンクリート構造、補強コンクリートブロック構造	・建築分野の他系における同一科目の教科の細目に概ね準じて変更
	4 建築設備	20	給排水設備、電気設備、空調設備	
	5 建築製図	30	JIS製図通則、建築物の製図	
	6 建築仕上法	50	コンクリートブロック施工法、左官施工法、タイル施工法	
	7 安全衛生	20	産業安全、労働衛生、安全衛生管理の実際、具体的災害防止対策	
	8 関係法規	20	建築基準法、建設業法、その他関係法規	
	系基礎学科合計	200		
系基礎実技	1 機械操作基本実習	50	建築仕上用各種機械の取扱い	
	2 調合実習	50	材料の調合、混練	
	3 足場実習	30	足場の組立て及び解体、登りさん橋	
	4 安全衛生作業法	20	安全衛生作業法	
	系基礎実技合計	150		
専攻学科	1 窯炉	30	窯炉一般、鉄鋼製造用窯炉、非鉄金属精錬用窯炉、その他の工業窯炉	
	2 材料	30	耐火物一般、耐火物の物性、耐火物の損傷の原因と防止法、定型耐火物、不定形耐火物、耐火モルタル、断熱材と保温材	
	3 燃料及び燃焼	10	燃料、燃焼、燃焼装置等、伝熱	
	4 築炉法	80	築炉一般、機械及び器工具、築炉作業法、モルタル及びコンクリート、煉瓦の加工法、不定形耐火物の施工法、墨出しとやり方、仮設設備、各炉の築炉法、仕上げ損傷の原因と修理法、保全、関連他工事、施工計画	
	専攻学科合計	150		
専攻実技	1 れんがの加工及び切断実習	100	機械及び器工具の取扱い、加工墨の割出しと墨打ち、れんがの加工及び切断	
	2 モルタル混練り実習	30	機械及び器工具の取扱い、調合、混練、圧送	
	3 不定形耐火物施工実習	100	機械及び器工具の取扱い、キャストブル耐火物の施工、プラスチック耐火物の施工、ラミング耐火物の施工、ガン耐火物の施工	
	5 築炉実習	120	築炉用器工具使用及び機械の機能と用途、築炉の段取り、築炉の施工法及び施工計画、築炉の損傷と修理	
	専攻実技合計	350		



新(改正後)

教科の細目 34-3				
訓 練 科		建築仕上系ブロック施工科		
教 科 の 科 目	訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由	
系基礎学科	1 建築概論	20	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2 建築生産概論	20	工程管理、資材管理、生産管理	
	3 建築構造	20	木構造、RC構造、SRC構造、補強ブロック構造木質構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、鉄骨・鉄筋コンクリート構造、補強コンクリートブロック構造	・建築分野の他系における同一科目の教科の細目に概ね準じて変更
	4 建築設備	20	給排水設備、電気設備、空調設備	
	5 建築製図	30	JIS製図通則、建築物の製図	
	6 建築仕上法	50	コンクリートブロック施工法、左官施工法、タイル施工法	
	7 安全衛生	20	産業安全、労働衛生、安全衛生管理の実際、具体的災害防止対策	
	8 関係法規	20	建築基準法、建設業法、その他関係法規	
	系基礎学科合計	200		
系基礎実技	1 機械操作基本実習	50	建築仕上用各種機械の取扱い	
	2 調合実習	50	材料の調合、混練	
	3 足場実習	30	足場の組立て及び解体、登りさん橋	
	4 安全衛生作業法	20	安全衛生作業法	
	系基礎実技合計	150		
専攻学科	1 ブロック構造	30	補強ブロック構造、型枠ブロック構造、帳壁構造、ブロック塀	
	2 測量	10	平板測量、レベル測量、トランシット測量測量一般、測量機器	・建築施工系基礎学科における同一科目の教科の細目に概ね準じて変更
	3 材料	30	ブロック用材料、建築施工用材料、混和剤	
	4 ブロック施工法	30	作業の段取り、鉄筋工事、組積方法、まぐさ、がりよう、スラブ	
	5 仕様及び精算	20	仕様書の目的、設計書との関係、見積もりの方法、積算法	
	専攻学科合計	120		
専攻実技	1 下地施工実習	30	土工事、基礎工事、型枠工事	
	2 切断及び加工実習	20	ブロック及び鉄筋の切断、ブロックの欠きとり・くり抜き	
	3 鉄筋工作及びブロック組積実習	200	特殊加工、鉄筋施工、ブロック組積、仕上げ	
	4 コンクリート施工実習	40	調合、ミキシング、打設	
	5 仮設工事実習	40	水もりやりかた、たてやりかた	
	6 養生	20	養生材料の取扱い、養生	
	専攻実技合計	350		

新(改正後)

教科の細目 34-4				
訓 練 科		建築仕上系熱絶縁施工科		
教 科 の 科 目	訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由	
系基礎学科	1 建築概論	20	建築の概要、建築物の種類、建築史	
	2 建築生産概論	20	工程管理、資材管理、生産管理	
	3 建築構造	20	<del>木構造、RC構造、SRC構造、補強ブロック構造</del> 木質構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、鉄骨・鉄筋コンクリート構造、補強コンクリートブロック構造	・建築分野の他系における同一科目の教科の細目に概ね準じて変更
	4 建築設備	20	給排水設備、電気設備、空調設備	
	5 建築製図	30	JIS製図通則、建築物の製図	
	6 建築仕上法	50	コンクリートブロック施工法、左官施工法、タイル施工法	
	7 安全衛生	20	産業安全、労働衛生、安全衛生管理の実際、具体的災害防止対策	
	8 関係法規	20	建築基準法、建設業法、その他関係法規	
	系基礎学科合計	200		
系基礎実技	1 機械操作基本実習	50	建築仕上用各種機械の取扱い	
	2 調合実習	50	材料の調合、混練	
	3 足場実習	30	足場の組立て及び解体、登りさん橋	
	4 安全衛生作業法	20	安全衛生作業法	
	系基礎実技合計	150		
専攻学科	1 保温工学概論		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	2 材料		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	3 熱絶縁施工法		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	4 仕様及び積算		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	専攻学科合計	150		
専攻実技	1 材料取扱実習		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	2 熱絶縁施工実習		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	3 検査実習		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	4 養生		(注意) 教科の細目を定めていないため、空白。	
	専攻実技合計	350		

新(改正後)

教科の細目 35-1					
訓 練 科			設備施工系冷凍空調設備科		
教 科 の 科 目			訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由
系基礎学科	1	機械工学概論	40	機械要素、機構と運動、原動機及び一般機器、材料力学	
	2	電気工学概論	40	直流及び交流回路、電流の磁気作用、電気機器、各種の電気応用	
	3	建築設備及び機器概論	40	給水設備、給湯設備、排水通気設備、衛生器具、上下水道施設、ガス設備、 <b>消火消防</b> 設備、空調和設備、換気設備、集じん装置、 <b>火災報知設備、排煙設備</b>	・配列順序は関連性でひとまとめにし、給排水、衛生等で固めて列記 ・消火設備、火災報知器、排煙設備は消防設備に包括
	4	環境工学概論	20	地球環境問題、大気、水質、土壌、廃棄物、臭気、騒音、光、環境関連法規、再生可能エネルギー利用、省エネルギー	
	5	生産工学概論	20	品質管理、工程管理、機械・工具・資材管理、コスト管理、環境管理	
	6	建築構造	20	土工事及び基礎工事、木構造、組積構造、鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨鉄筋コンクリート構造	
	7	建築製図	30	製図用機械、JIS製図通則、建築製図法	
	8	溶接法	20	ガス溶接法、アーク溶接法、ろう付け法	
	9	安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法、関係法規	
	10	仕様及び積算	20	仕様書、積算	
	系基礎学科合計		270		
系基礎実技	1	器工具使用法	50	手工具、電動工具、 <b>ボール盤作業、グラインダ作業、はつり作業配管用加工機器</b>	・「はつり」は設備施工作業でないため削除 ・設備施工とは関係ない機器作業も削除 ・配管用の加工に係るパイプソー等の機器を「配管用加工機器」として追加
	2	溶接及びろう付け基本実習	60	ガス溶接、アーク溶接、ろう付け	
	3	配管基本実習	70	<b>塩化ビニル管、合成樹脂管</b> 、銅管、 <b>樹脂管</b> 、銅管、ステンレス管、特殊管、 <b>保温工事</b>	・材質による分類に整理し、樹脂も硬化性塩化ビニル管と他の合成樹脂管に分類 ・について、専攻実技の「設備施工実習」または「配管施工実習」で施工法と共に学んだ方がよい「保温工事」を削除
	4	安全衛生作業法	20	安全衛生作業法	
	系基礎実技合計		200		
専攻学科	1	自動制御	30	制御理論、制御機器の種類と用途、各種回路	
	2	冷凍空調設備	50	冷凍機器、冷凍装置、空調装置、空調機器、機器の選定、 <b>関連法規</b>	・空調機器に用いられるフロンが存在が温室効果ガスに関連する等、環境汚染等の「関係法規」を追加
	3	設備製図	40	空調設備の設計及び製図	
	4	冷凍空調法	50	冷凍サイクル、冷媒、空調計画、負荷計算	
	5	施工法	30	冷媒配管施工法、冷凍空調装置据付法、配管施工法、冷媒回収、 <b>保温施工法</b>	・配管施工に係る保温工事方法である「保温施工法」を追加
	専攻学科合計		200		
専攻実技	1	冷媒配管実習	50	管加工、配管、気密漏えい試験検査、断熱	
	2	制御配線実習	60	配線工事、シーケンス配線、機器回路配線	
	3	設備施工実習	70	各種冷凍及び空調装置の据付け、配管、配線、保温工事、 <b>太陽熱給湯装置、ヒートポンプ給湯器</b>	・太陽熱給湯装置、ヒートポンプ給湯器は冷凍空調設備でないため削除
	4	運転及び調整実習	40	計測器の使用法、各種冷凍及び空調装置の運転、調整及び修理	
	5	整備実習	40	各種冷凍及び空調装置の分解・組立て、ポンプ・送風機の分解・組立て、冷媒回収	
	6	検査実習	50	冷凍及び空調装置の工事検査	
	専攻実技合計		310		

新(改正後)

教科の細目 35-2					
訓練科			設備施工系配管科		
教科の科目			訓練時間	教科の細目	基礎研究会における修正理由
系基礎学科	1	機械工学概論	40	機械要素、機構と運動、原動機及び一般機器、材料力学	
	2	電気工学概論	40	直流及び交流回路、電流の磁気作用、電気機器、各種の電気応用	
	3	建築設備及び機器概論	40	給水設備、給湯設備、排水通気設備、衛生器具、上下水道施設、ガス設備、 <b>消火消防設備</b> 、空気調和設備、換気設備、集じん装置、 <b>火災報知設備</b> 、 <b>排煙設備</b>	・配列順序は関連性でひとまとめにし、給排水、衛生等で固めて列記 ・消火設備、火災報知器、排煙設備は消防設備に包括
	4	環境工学概論	20	地球環境問題、大気、水質、土壌、廃棄物、臭気、騒音、光、環境関連法規、再生可能エネルギー利用、省エネルギー	
	5	生産工学概論	20	品質管理、工程管理、機械・工具・資材管理、コスト管理、環境管理	
	6	建築構造	20	土工事及び基礎工事、木構造、組積構造、鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨鉄筋コンクリート構造	
	7	建築製図	30	製図用機械、JIS製図通則、建築製図法	
	8	溶接法	20	ガス溶接法、アーク溶接法、ろう付け法	
	9	安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法、関係法規	
	10	仕様及び積算	20	仕様書、積算	
	系基礎学科合計		270		
系基礎実技	1	器工具使用法	50	手工具、電動工具、 <b>ボール盤作業、グラインダ作業、はつり作業配管用加工機器</b>	・「はつり」は設備施工作業でないため削除 ・設備施工とは関係ない機器作業も削除 ・配管用の加工に係るパイプソー等の機器を「配管用加工機器」として追加
	2	溶接及びろう付け基本実習	60	ガス溶接、アーク溶接、ろう付け	
	3	配管基本実習	70	<b>塩化ビニル管、合成樹脂管</b> 、銅管、 <b>樹脂管</b> 、銅管、ステンレス管、特殊管、 <b>保温工事</b>	・材質による分類に整理し、樹脂も硬化性塩化ビニル管と他の合成樹脂管に分類 ・について、専攻実技の「設備施工実習」または「配管施工実習」で施工法と共に学んだ方がよい「保温工事」を削除
	4	安全衛生作業法	20	安全衛生作業法	
	系基礎実技合計		200		
専攻学科	1	配管概論	50	流体力学、熱力学、 <b>配管材料</b> 、配管用 <b>工作加工</b> 機械、管仕上げ及び組立法、管の接合法、 <b>試験法</b> 、 <b>機能試験の方法</b> 、 <b>管組立法</b> 、 <b>建築基準法</b>	・二重の表現である「管組立法」を削除 ・試験法を「機能試験」に変更 ・配管施工が「建築設備等」として記載されている「建築基準法」を追加 ・一般に配管加工または管加工ということを受け工作機械を加工機械に変更
	2	給排水設備	40	給水装置、 <b>給水方式</b> 、使用水量、給水管の管径、ポンプ、 <b>給湯方式</b> 、排水管の管径、排水トラップと通気管、 <b>給水方式</b> 、衛生器具、浄化槽、 <b>給湯方式</b>	・関連性でまとめて配列し直し
	3	空調設備	30	暖房設備、各種暖房方式、放熱器、ボイラー、冷房設備、冷房方式、空気調和装置、空気調和装置用機器、冷凍機設備、冷凍機用付属機器、ヒートポンプ空調機	
	4	設備製図	30	給排水設備製図、空調設備製図、配管製図	
	5	配管施工法	50	給排水設備の配管施工法、通気及び衛生器具の配管施工法、給湯設備の配管施工法、ガス設備の配管施工法、冷暖房設備の配管施工法、保温施工法	
	専攻学科合計		200		
専攻実技	1	配管施工実習	260	給排水設備の配管施工、通気の <b>配管施工</b> 及び衛生器具の <b>配管施工</b> 取り付け、給湯設備の配管施工、ガス設備の配管施工、冷暖房設備の配管施工、保温工事、太陽熱給湯装置	・「衛生器具の配管施工」を「衛生器具の取り付け」に変更
	2	検査実習	50	水圧検査、満水及び通水検査、空気圧及び気密検査	
	専攻実技合計		310		

新(改正後)

教科の細目 35-3					
訓練科			設備施工系住宅設備機器科		
教科の科目			訓練時間	教科の細目	基礎研究会における修正理由
系基礎学科	1	機械工学概論	40	機械要素、機構と運動、原動機及び一般機器、材料力学	
	2	電気工学概論	40	直流及び交流回路、電流の磁気作用、電気機器、各種の電気応用	
	3	建築設備及び機器概論	40	給水設備、給湯設備、排水通気設備、衛生器具、上下水道施設、ガス設備、 <b>消火消防設備</b> 、空気調和設備、換気設備、集じん装置、 <b>火災報知設備</b> 、 <b>排煙設備</b>	・配列順序は関連性でひとまとめにし、給排水、衛生等で固めて列記 ・消火設備、火災報知器、排煙設備は消防設備に包括
	4	環境工学概論	20	地球環境問題、大気、水質、土壌、廃棄物、臭気、騒音、光、環境関連法規、再生可能エネルギー利用、省エネルギー	
	5	生産工学概論	20	品質管理、工程管理、機械・工具・資材管理、コスト管理、環境管理	
	6	建築構造	20	土工事及び基礎工事、木構造、組積構造、鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨鉄筋コンクリート構造	
	7	建築製図	30	製図用機械、JIS製図通則、建築製図法	
	8	溶接法	20	ガス溶接法、アーク溶接法、ろう付け法	
	9	安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法、関係法規	
	10	仕様及び積算	20	仕様書、積算	
	系基礎学科合計		270		
系基礎実技	1	器工具使用法	50	手工具、電動工具、 <b>ボール盤作業、グラインダ作業、はつり作業配管用加工機器</b>	・「はつり」は設備施工作業でないため削除 ・設備施工とは関係ない機器作業も削除 ・配管用の加工に係るパイプソー等の機器を「配管用加工機器」として追加
	2	溶接及びろう付け基本実習	60	ガス溶接、アーク溶接、ろう付け	
	3	配管基本実習	70	<b>塩化ビニル管、合成樹脂管</b> 、銅管、 <b>樹脂管</b> 、銅管、ステンレス管、特殊管、 <b>保温工事</b>	・材質による分類に整理し、樹脂も硬化性塩化ビニル管と他の合成樹脂管に分類 ・について、専攻実技の「設備施工実習」または「配管施工実習」で施工法と共に学んだ方がよい「保温工事」を削除
	4	安全衛生作業法	20	安全衛生作業法	
	系基礎実技合計		200		
専攻学科	1	燃焼化学概論	30	燃料の種類、エネルギー計算、燃焼理論	
	2	換気概論	30	換気の必要性、換気方式と換気設備、換気量計算	
	3	住宅設備及び機器	50	各種設備及び機器の特性と選び方、機器制御の基礎、保守管理及び修理法	
	4	設備製図	40	住宅設備の設計及び製図	
	5	施工法	50	機械・工具の使用法、 <b>ユニットバス工事</b> <b>浴槽の据付け</b> 、各種 <b>システムキッチン等厨房機器</b> の据付け	・浴槽を設置からユニットバス等の施工となっている状況よりユニットバスに変更 ・住宅においては厨房設備とは言わないことからキッチン設備に変更
	専攻学科合計		200		
専攻実技	1	設備施工実習	150	各種住宅設備の据付け、配管工事、タイル施工、換気・排気筒工事、太陽熱給湯装置、 <b>ヒートポンプ給湯器</b> 、太陽光発電装置	・給湯設備に「ヒートポンプ給湯器」を追加
	2	整備実習	150	住宅設備の <b>保守維持</b> 管理、故障診断及び修理	・保守管理を維持管理へと変更
	専攻実技合計		300		

新(改正後)

教科の細目 37-1					
訓練科			設備管理・運転系ビル管理科		
教科の科目			訓練時間	教科の細目	基礎研究会における修正理由
系基礎学科	1	生産工学概論	40	工程管理、品質管理	
	2	自動制御	60	制御理論、制御機器の種類と用途、各種回路	
	3	熱源設備	70	ボイラー、冷凍機、吸収式冷温水機等	
	4	熱管理	70	熱収支、燃焼方法、熱量計算	
	5	安全衛生	40	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	系基礎学科合計		280		
系基礎実技	1	熱源設備の保守管理実習	110	熱源設備の保守・運転・管理作業	
	2	安全衛生作業法	40	安全衛生作業法	
	系基礎実技合計		150		
専攻学科	1	ビル管理概論	40	建築構造の概要、建築設備の種類、中央監視システム	
	2	給排水・衛生設備	50 40	給水方式の種類と機能、排水通気方式の種類と機能、衛生器具の種類と機能、配管方式、配管図、 <b>消火設備</b>	・給排水・衛生設備の中に当てはまらない「消火設備」を削除 ・削除した「消火設備」等を、新たな教科『消防設備』として起こすよう提案。 ・新教科用に訓練時間数を10時間削減
	3	空気調和設備	50 40	熱負荷、空調方式、機器の種類と構造	・新教科『消防設備』用に訓練時間数10時間削減
	4	電気設備	80 70	電気理論、受変電・動力・電灯設備、 <b>火災報知設備等の種類と機能</b> 、配線図	・電気設備の中に当てはまらない「火災報知設備等の種類と機能」を削除 ・削除した「火災報知設備」等を、新たな教科『消防設備』として起こすよう提案 ・新教科用に訓練時間数を10時間削減
	5	<b>消防設備</b>	30	<b>消火設備、警報設備、避難設備、消火活動上必要な施設</b>	・教科名『消防設備』の新設 ・「給排水・衛生設備」、「電気設備」から外した消防設備内容を網羅
	6	設備図面	30	各種建築図面の読み方、設備図面の読み方	
	7	関係法規	20	ビル衛生管理関係法令、高圧ガス保安法、消防法、給排水関係法、ボイラー及び圧力容器安全規則、労働安全衛生法、電気事業法、建築基準法、フロン回収・破壊法	
	専攻学科合計		270		
専攻実技	1	給排水・衛生設備保守管理実習	60	給排水・衛生設備の点検・調整・保守・記録、水質測定	
	2	空気調和設備保守管理実習	80	空気調和機及び付帯設備の保守・運転、環境測定	
	3	電気設備保守管理実習	80	受変電・動力・電灯・非常用電源設備の点検・保守・記録、電気工事	
	4	自動制御機器保守管理実習	80	自動制御機器の点検・保守	
	専攻実技合計		300		



新(改正後)

教科の細目 37-2					
訓 練 科			設備管理・運転系ボイラー運転科		
教 科 の 科 目			訓練時間	教 科 の 細 目	基礎研究会における修正理由
系基礎学科	1	生産工学概論	40	工程管理、品質管理	
	2	自動制御	60	制御理論、制御機器の種類と用途、各種回路	
	3	熱源設備	70	ボイラー、冷凍機、吸収式冷温水機等	
	4	熱管理	70	熱収支、燃焼方法、熱量計算	
	5	安全衛生	40	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	
	系基礎学科合計		280		
系基礎実技	1	熱源設備の保守管理実習	110	熱源設備の保守・運転・管理作業	
	2	安全衛生作業法	40	安全衛生作業法	
	系基礎実技合計		150		
専攻学科	1	ボイラーの構造	50	ボイラーの種類及び型式、主要部分の構造及び強度、材料、工作、据付け、付属設備及び付属品の構造、自動制御	
	2	ボイラーの取扱い	100	点火、運転中の留意事項、付属設備及び付属品の取扱い、ボイラー用水及びその処理、吹出し、損傷及びその防止方法	・「ボイラー取扱いに関する知識」においても、「吹出し損傷」ではなく「吹出し」、「損傷」と分かれていることに合わせて変更
	3	燃料及び燃焼	50	燃料の種類、燃焼理論、燃焼方式及び燃焼装置、通風及び通風装置	
	4	保守及び整備法	30	機械的清浄作業、化学洗浄作業、付属設備及び付属品の設備、清浄作業に使用する器工具	
	5	関係法規	20	労働安全衛生法、労働安全衛生規則、ボイラー及び圧力容器安全規則、ボイラー構造規格	
	専攻学科合計		250		
専攻実技	1	ボイラー運転実習	300	点火、燃焼の調整、付属設備及び付属品の取扱い	
	2	水処理実習	50	補給水処理、ボイラー系統内処理	
	3	点検及び保守実習	150	損傷の防止及び措置、使用後の措置、清浄作業、点検及び異常時の処置	
	専攻実技合計		500		



